

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) クラレケミカル株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒705-0025 岡山県備前市鶴海4342番地
----	----------------------------	----	--

本票作成	部署名：生産技術統括部
------	-------------

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	活性炭等の製造	従業員数	349人
-------	---------	------	------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	鶴海工場	備前市鶴海4342

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 23 年度)	(平成 25 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	26,446 t CO <sub>2</sub>	24,072 t CO <sub>2</sub>	34,476 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25 )年度排出量
	①	鶴海工場	24,072 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 24 年度	～	平成 26 年度	( 3 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 25 ) 年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	18.8 %	14.6 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 売上高	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 25 ) 年度	目標年度
		166.4 t CO <sub>2</sub> /(億円)	135.1 t CO <sub>2</sub> /(億円)	142.1 t CO <sub>2</sub> /(億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・今年度も売上高ベース原単位の削減を目標に、エネルギー使用量を把握しながら削減対策に取り組んだ。
- ・原油換算エネルギー使用量は昨年同等であったが、電力の排出係数増加に伴いCO<sub>2</sub>排出量は増加。売上高の増加で原単位としては前年から更に改善された。新設の(株) バイオハードカーボン生産設備によるエネルギー使用量増を見込んだ計画に対し、平成26年3月～試運転開始と計画が遅延となっておりエネルギー使用量がまだ少ない為、昨年同様、数値上は計面前倒しの目標達成となっている。

**【推進体制】**

- ・省エネ法・IS014001に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を管理している。
- ・月例の環境安全管理委員会（経営陣含む全社会議）で毎月エネルギー使用状況、省エネ・CO2削減対策の進捗を報告している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
鶴海工場	<p>(22～24年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・反応炉可燃性排ガスの循環活用拡大、効率化 既設2炉への追加導入実施：CO2削減量見込300t/年×7炉 完了済</li> </ul> <p>(25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スチーム駆動空圧機の導入 ：CO2削減量70t/年 導入済、試運転・効果確認中</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未回収熱源有効利用化 検討中</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

現計画期間（平成24年度～平成26年度）中は、計画時に算入していた為、敷地内に建設しました平成26年4月竣工の合弁子会社（株）バイオハードカーボンのCO2排出量も合算して報告致します。平成27年度からの次期計画からは（株）バイオハードカーボンは別算定する予定となっています。